

# 北海道平取町

住所	〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町 28 番地
町長	遠藤 桂一
HP	<a href="https://www.town.biratori.hokkaido.jp/index.html">https://www.town.biratori.hokkaido.jp/index.html</a>
バイオマス産業都市選定年度	2015 年
バイオマス産業都市構想	2020 年度改訂版 <a href="https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material/files/group/7/01946047.pdf">https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material/files/group/7/01946047.pdf</a>
担当部署	まちづくり課 ゼロカーボン推進係
連絡先 TEL	01457-2-2222
連絡先 E-mail	zero.carbon@town.biratori.lg.jp



平取町公式キャラクター ビラッキー

## 平取町バイオマス産業都市構想 ~エネルギーの地産池消をめざして~

木質バイオマスの大きな可能性  
 ・総面積743.09km<sup>2</sup>  
 ・森林面積627.95km<sup>2</sup>  
 85%が森林  
 林地残材等の利用

- めざすべき将来像**
- ①新たな熱供給公社の設立による木質バイオマスの熱利用及び電力利用
  - ②木質バイオマス利用に係る新たな産業の創出
  - ③バイオマスの活用と平行したコンパクトなまちづくり



**①農業ハウス用燃料のバイオマス化**

- ・トマトハウス用暖房を現在の灯油から、チップ・ペレットなど木質系ボイラーへの転換を図る。
- ・熱供給公社などの設立で、より安価で求めやすい熱を提供し、農業事業の負担軽減を図る。

- 事業化プロジェクト**
- ①農業ハウス用燃料のバイオマス化
  - ②公共施設への率先導入計画の推進
  - ③木の駅プロジェクトの事業化
  - ④太陽光発電設備の運用

**④太陽光発電設備の運用**

- ・バイオマス産業化をめざすにあたり、地域の低炭素化や遊休土地の有効利用などの観点から、地方自治体が事業主体となり、FIT(固定価格買取制度)を活用した太陽光発電施設の運用を図る。

**②公共施設への率先導入計画**

- ・バイオマス化の初期段階として、公共施設の暖房施設の木質燃料化を検討する。
- 現在、建て替えを予定している平取町立国保病院、平取町役場(本庁舎)や現在オール電化で、電力の高騰に伴う経費増大が問題化している中央公民館への導入を図る。



## I 事業化プロジェクト

表 1 プロジェクト一覧表

項目	名称	現状
プロジェクト 1	公共施設への率先導入計画	実施中
プロジェクト 2	農業ハウス用燃料のバイオマス化	検討中
プロジェクト 3	木の駅プロジェクトの事業化	検討中
プロジェクト 4	太陽光発電設備の運用	その他（中断）
プロジェクト 5	生ごみバイオガス化・消化液化プロジェクト	その他（中断）

プロジェクト No.1	公共施設への率先導入計画		
実施主体	平取町		
利用する技術	<input checked="" type="checkbox"/> 木質バイオマス発電 <input checked="" type="checkbox"/> 熱利用		
実施体制	プラントメーカー	フォレストエナジー、WB エナジー	
	設計・施工業者	設計：Fan 建築設計 施工：楠建設	
概要	町内の公共施設（国保病院、役場庁舎、中央公民館）へ、チップボイラー等を率先導入し、木質バイオマス活用の推進を図る。		
内容	項目	計画値	実績値 (2023 年度)
	燃料：チップ 利用量(t/年)	260	461
	燃料：ペレット 利用量(t/年)	154	0
	発電量(kwh/年)	0	163,611
	FIT/FIP の適用	<input type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP	<input checked="" type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外
	熱利用（用途） 熱利用量(MJ/年)	暖房 5,587,000	暖房・給湯・チップ乾燥 3,869,732
<b>事業運営上の課題</b>			
<p>・課題</p> <p>燃料のチップについて、計画では林地残材を活用する事としているが、コスト高となる為、町内の製材所より未利用材（端材）を原料としたチップを購入・搬送している。それでも、当初計画よりチップ単価が高い事から、価格を抑える検討が必要。</p>			

また、導入している熱電併給機において、メンテナンス費用の負担が非常に大きく、稼働率も計画より低い為、費用対効果が得られていない。

◎ バイオマスセンター施設全体



◎ バイオマスボイラー



◎ 熱電供給機



プロジェクト No.2	<b>農業ハウス用燃料のバイオマス化</b>		
実施主体	平取町		
利用する技術	☑木質チップ・ペレット製造		
概要	農業ハウスにおける灯油ボイラーについて、木質チップ・ペレットを燃料としたボイラーに転換し、バイオマス化を図る。		
内容	項目	計画値	実績値 (2023年度)
	燃料：木質チップ 利用量(t/年)	2,782	0
	燃料：ペレット 利用量(t/年)	209	0
	熱利用（用途） 熱利用量(MJ/年)	チップ・ペレットボイラー 40,385,000	0

プロジェクト No.3	<b>木の駅プロジェクトの事業化</b>		
実施主体	平取町		
概要	地域通貨や雇用創出を絡ませた「林地残材収集システム」のソフト事業		

プロジェクト No.4	<b>太陽光発電設備の運用</b>	
実施主体	平取町	
概要	バイオマス産業の財源確保を目的とした太陽光発電施設の運用	
内容	発電量(kwh/年)	850,339
	FIT/FIP の適用	<input checked="" type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外

プロジェクト No.5	<b>生ごみバイオガス化・消化液化プロジェクトの事業化</b>	
実施主体	平取町	
利用する技術	<input checked="" type="checkbox"/> メタン発酵バイオガス発電	
概要	生ごみのメタン発酵による発電事業	
内容	<b>項目</b>	<b>計画値</b>
	原料：生ごみ 利用量(t/年)	2,630
	発電量(kwh/年)	716,000
	FIT/FIP の適用	<input checked="" type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外
	バイオ液肥生産量(t/年)	5,878

## II 脱炭素化の取組状況や取組方針

### II-1 地域における脱炭素に関する計画について

計画名称等	策定年度 (選定年度)	(未定の場合) 策定予定の有・無
地方公共団体実行計画 (区域施策編)	<b>2024年度</b> <a href="https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material/files/group/7/kuisesakuhonpen.pdf">https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material/files/group/7/kuisesakuhonpen.pdf</a>	
重点対策加速化事業 (地域脱炭素移行・再エネ推進交付金)		<b>有</b>
ゼロカーボンシティ宣言	<b>2022年度</b> <a href="https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material/files/group/7/53622693.pdf">https://www.town.biratori.hokkaido.jp/material/files/group/7/53622693.pdf</a>	

## II-2 地域における脱炭素化に関する取組の概要

- ・バイオマス（木質チップ）による公共施設への熱・電気の供給  
（バイオマスボイラー、熱電併給機の導入）
- ・住宅用の太陽光発電・蓄電池の設置補助
- ・EV普及に向けたインフラ整備（EV充電器の設置）

## II-3 2030年度までに目指す地域における脱炭素化実現

